



群馬県コンクール 金賞

大きくそだってね。

太田市立太田小学校 2年 坂本 優月

わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、まい年おこめを作っています。わたしも、お父さん、お母さんたちとたねまきと田うえのお手伝いをしました。

たねまきをしたときに、わたしが一ばんびっくりしたことは、おこめのたねがおこめだったことです。あと、たねと土が入ったケースがとてもおもかったことです。おじいちゃんやおばあちゃんは、ケースを三つもかさねてもっていてすごいなあと思いました。わたしもきょ年までは、妹と二人でもっていたけれど、二年生になって一人でもてるようになりました。

ケースをトラックではこんで、みんなで田んぼにならべました。おもかったので、えいっと田んぼにおいたら、たねにかかっていた土がこぼれてしまったので、つぎからこぼれないようにゆっくりおきました。おばあちゃんに、

「早くめが出てほしいね。」

と言うと、

「今は、たねから作る人は少ないんだよ。なえがしょうぶにできると、おこめづくりははん分せいこうしたというぐらい、なえ作くりは、だいじなんだよ。」

と、教えてくれました。

田うえの日になりました。おじいちゃんが、トラクターでげん気にそだったなえをうえました。わたしは、心の中で、はんぶんせいこうだよと思いました。わたしも、雨の中、おじいちゃんがうえやすいようになえのケースをはこびました。だいじななえなので、どろだらけになったけれど、おとさないようにがんばりました。

今、田んぼのよこをとおると、みんなでうえたなえがかぜにゆれています。どんどん大きくなって、おいしいおこめになるのが、とてもたのしみです。